

10月15日
東証上場!

iシェアーズ債券ETFに新たに4銘柄が登場! ～国内最多※1の債券ETFラインアップに～

債券ETFを活用して、リスクを抑えた分散投資を

ブラックロック・ジャパンは、10月15日に新たに「米国債1-3年」、「米国債20年超(為替ヘッジあり)」、「ユーロ建て投資適格社債(為替ヘッジあり)」、「米ドル建て新興国債券(為替ヘッジあり)」を投資対象とする4銘柄の債券ETFを東証に上場しました。新規上場の4銘柄を含めた、当社の展開する「iシェアーズETF 東証上場シリーズ」の債券ETFは、9銘柄と国内最多※1のラインアップです。

債券は、一般的に株式と異なる値動きをするため、株式の持つ固有のリスクを分散するために、プロを中心に多くの投資家に活用されています。そのほかにも定期的な利息収入を得るために、または相対的に安定した資産運用をするために活用されることもあります。プロの投資家にとって欠かせない資産である債券ですが、小口の投資ができない場合が多いため、個人投資家の方にはあまりなじみのない資産かもしれません。

しかし、債券ETFを活用すれば、債券投資を少額から分散投資することができます。以降では、債券ETFの特長と新たに「iシェアーズ債券ETF 東証上場シリーズ」に加わった、4銘柄をご紹介します。

iシェアーズ債券ETF 東証上場シリーズ

投資対象	銘柄コード	名称	信託報酬(税抜)	指数 ^{※2} 利回り
日本国債	2561	iシェアーズ・コア 日本国債 ETF	国内最低水準※1 0.06%	0.13%
	2620	新規上場 国内初! iシェアーズ 米国債1-3年 ETF	0.14%	0.14%
	1656	iシェアーズ・コア 米国債7-10年 ETF	0.14%	0.54%
米国債	1482	iシェアーズ・コア 米国債7-10年 ETF(為替ヘッジあり)	0.14%	-0.05%
	2621	新規上場 国内初! iシェアーズ 米国債20年超 ETF(為替ヘッジあり)	0.14%	0.73%
投資適格債	1496	iシェアーズ 米ドル建て投資適格社債 ETF(為替ヘッジあり)	0.28%程度	1.60%
	2623	新規上場 国内初! iシェアーズ ユーロ建て投資適格社債 ETF(為替ヘッジあり)	0.28%程度	0.84%
ハイイールド債	1497	iシェアーズ 米ドル建てハイイールド社債 ETF(為替ヘッジあり)	0.58%程度	4.74%
新興国債券	2622	新規上場 国内初! iシェアーズ 米ドル建て新興国債券 ETF(為替ヘッジあり)	0.45%程度	3.91%

※1 出所: 東京証券取引所のHPをもとにブラックロック調べ、2020年9月末現在
 ※2 対象インデックスの利回り。為替ヘッジあり銘柄はヘッジ後利回り、為替ヘッジなし銘柄は現地通貨建て利回り。
 出所: FTSE Russell、ブルームバーグ、ブラックロック、2020年9月末時点。指数の利回りは過去のものであり、将来の運用成果等は示唆あるいは保証するものではありません
 ※3 投資するETFの投資比率や報酬率等が変更になる可能性があり、実質的な負担についても変動することがあります。詳細は、各ETFの目録見書をご参照下さい。

債券投資の活用方法

債券には主に以下の三つの特徴があります。

1. 定期的な利息収入を得ることができる
2. 株式に比べて値動きが安定している
3. 株式と値動きが異なるので分散投資に活用できる

なぜ債券がこのような特徴を持つのかは、債券のしくみにあります。以降では、債券のしくみをみていきましょう。

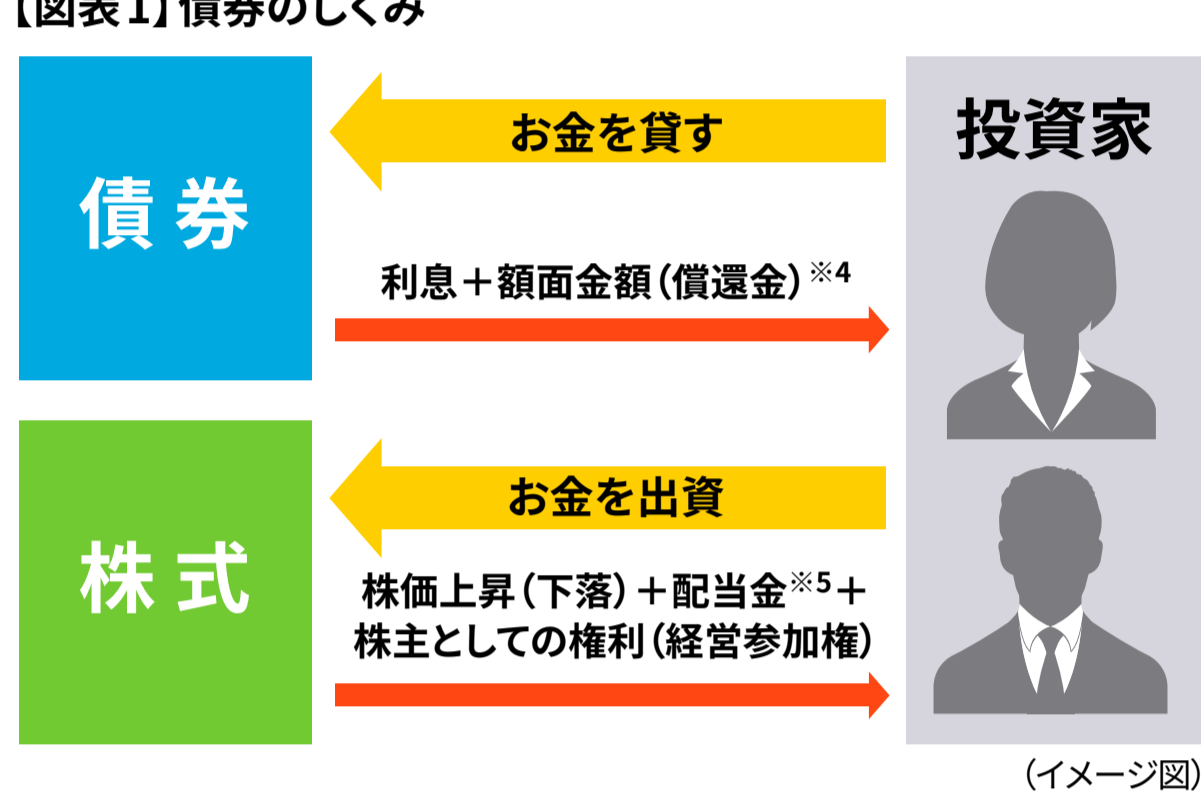
債券のしくみ

債券も株式と同じく資金調達の手段のひとつで、国や企業などが投資家から資金を調達するために発行されます。株式と債券の大きな違いは、株式が企業に対する出資であるのに対して、債券は国や企業(発行体と呼びます)に対する融資であるという点です。株式の場合、資金を提供することで投資家は投資先企業のオーナー(株主)としての権利を得ます。つまり、投資先企業が成長すれば、その成長を享受することができますが、一方で事業が低迷すればその影響を被ることになります。

債券の場合は、投資家が最終的に受け取る金額と支払の期日があらかじめ決められています。債券投資は投資家による発行体へのお金の貸し出しなので、貸している間は利息が支払われ、発行体が破綻したり、債務不履行に陥ったりしない限り、償還時には貸したお金が返ってきます【図表1】。債券の特徴の「1. 定期的な利息収入を得ることができる」、「2. 株に比べて値動きが安定している」という点は、このような債券のしくみによるものです。

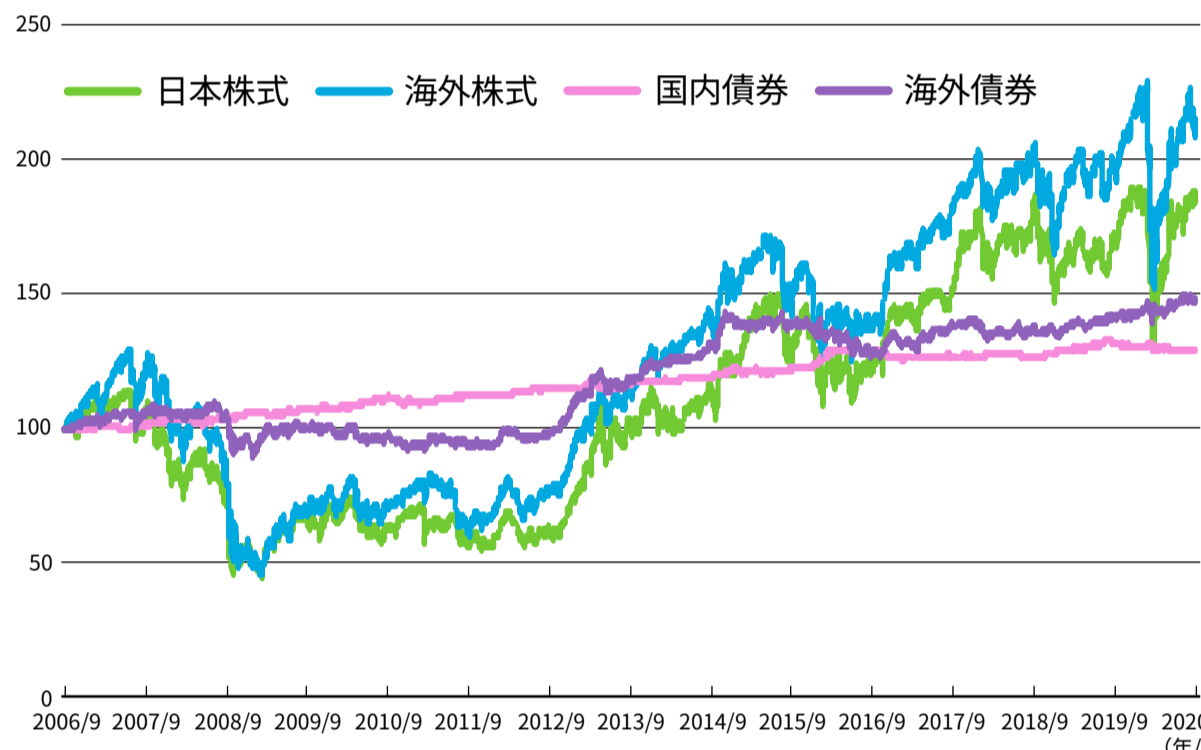
【図表2】は、国内と海外の株式と債券の値動きを示したものです。債券は株式よりも値動きが安定していて、かつ株式と値動きが異なっています。「3. 株式と値動きが異なるので分散投資に活用できる」ともお分かりいただけると思います。しかし、債券の価格は金利や為替の変動等により上下するため、償還前に売却する場合には、投資元本を割込むことがあります。債券投資のリスクについては、次項でご説明します。

【図表1】債券のしくみ



※4 債券の価格は金利変動等により上下しますので、途中売却する場合には損失が生じるおそれがあります
 ※5 配当金は支払いが保証されているものではありません

【図表2】各資産の値動きの推移(2006年9月～2020年9月)

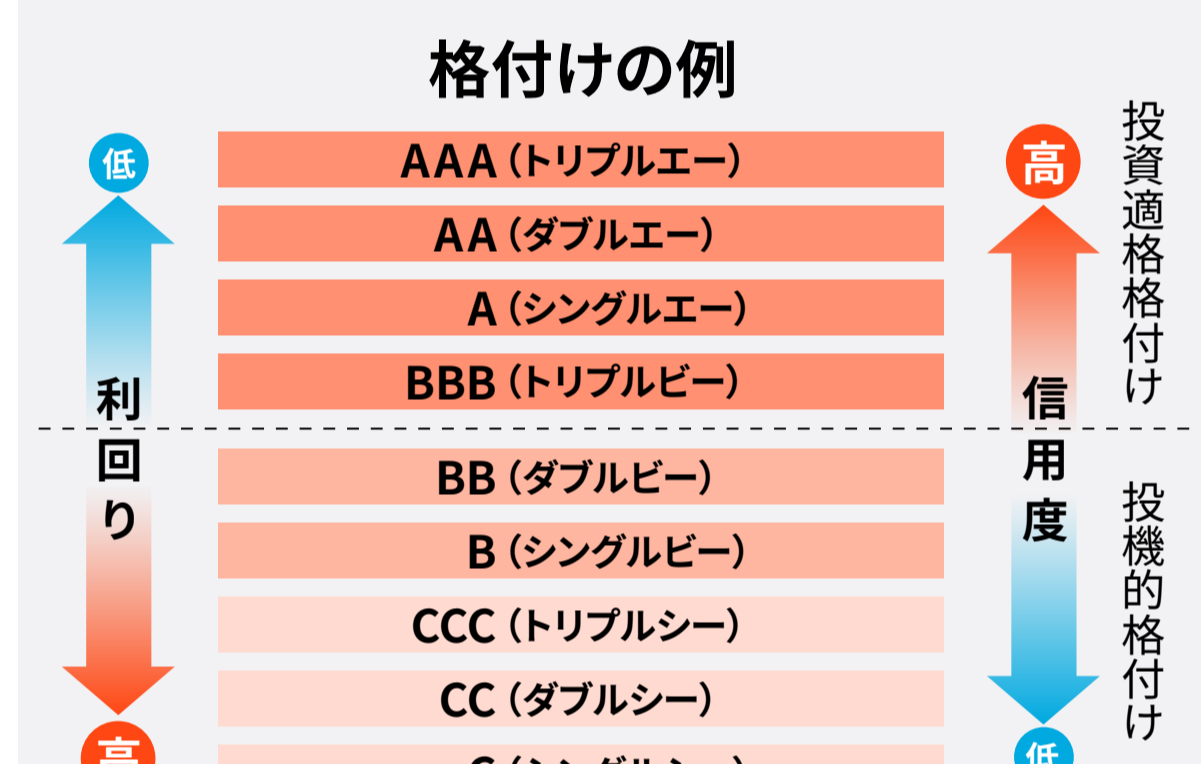


出所:ブルームバーグよりブラックロック作成。2006年9月末を100として指数化。各資産の指数は以下の通り。国内株式:日経225。海外株式:MSCI ACWI(円ベース)、国内債券:NOMURA-BPI総合。海外債券:FTSE世界国債インデックス(円ベース)

債券投資のリスク

債券投資には主に1.信用リスク、2.価格変動リスク、3.為替変動リスクがあります。

1. **信用リスク**: 債券の発行体が財政難に陥ったり、破綻したりしてしまうと、投資家は定められた利子や償還金を受け取ることができなくなることがあります。一般的に低格付けの債券は利回りが高く、高格付けの債券は利回りが低くなります。発行体の信用度は格付機関などが発表している格付けで確認をすることが可能です。
2. **価格変動リスク**: 債券の価格は、金利が上昇すると下落し、金利が下落すると上昇します。債券の利率は発行された時点の市場金利によって決まるため、現在の市場金利が債券を購入した時点よりも上昇すれば、利率の低い債券の魅力度は薄れ、価格が下がります。反対に債券を購入した時よりも金利が下落すれば、より高い利率を持つ債券の価値が高まり、価格は上昇します。一般的に、償還までの期間が長い債券ほど利回りは高くなりますが、金利が上昇した場合、価格の下落幅が大きくなる傾向があります。
3. **為替変動リスク**: 外国債券の場合、円建てで発行されていても、最終的に投資している資産は外貨のため、投資を開始した時点よりも円高になると差損が生じることがあります。



(イメージ図)

債券ETFの特徴

分散投資をする上で重要な役割を果たす、債券の主な特徴がお分かりいただけたと思います。しかし、冒頭にもお伝えした通り、債券は小口の投資ができない場合が多く、まとまった資産がなければ投資が難しい投資商品でもあります。債券ETFは、少額から、複数の債券に分散投資することができるので、手軽に債券投資を取り入れることが可能です。

iシェアーズ債券ETFを活用した債券投資の特徴

1. **少額から投資ができる**: 例えば、「iシェアーズ債券ETF 東証上場シリーズ」は、国内外の債券を投資対象とする9本の債券ETFをラインアップに持ち、どの商品も2,000円台※6からの投資が可能です。
2. **複数の債券に分散投資ができる**: 債券ETFは複数の債券から構成されているので、少額の資金で分散投資をすることができます。
3. **日本株と同じように、円でお取引ができる**: 東証に上場しているため、日本株と同じように円でお取引いただけます。

海外債券は国内債券よりも種類が豊富で、為替変動リスクや国・地域によっては信用リスクに留意が必要ではあるものの、相対的に高い利回りの獲得が期待できます。個別の海外債券に投資するのはハードルが高くとも、ETFであれば、少額から複数の債券に手軽に投資をすることができます。また、為替ヘッジを付けることで為替リスクを低減することが可能です。ただし、ヘッジコストという費用がかかる場合があります。※7

「iシェアーズ債券ETF 東証上場シリーズ」は、すべて1口から投資が可能で、日本からは投資の手段が限られる海外債券にも手軽に投資することができます。iシェアーズ債券ETFを活用して、手軽に分散投資を始めてみませんか?

※6 2020年10月15日現在
 ※7 ヘッジコストは基準となる通貨(例:円)がヘッジ対象となる通貨(例:米ドル)よりも低金利の場合に発生します

新規上場 iシェアーズ債券ETF

10月15日 東証上場!

2620	iシェアーズ 米国債1-3年 ETF	2623	iシェアーズ ユーロ建て投資適格社債 ETF (為替ヘッジあり)
2621	iシェアーズ 米国債20年超 ETF (為替ヘッジあり)	2622	iシェアーズ ユーロ建て投資適格社債 ETF (為替ヘッジあり)

iシェアーズETF 東証上場シリーズ(全22銘柄)

重要事項

当資料は、当ファンドの特色や投資対象、リスク要因および留意点についてご理解を深めていただく目的で、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成した販売用資料です。当ファンドは、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。iシェアーズETFへの投資による利益はすべて投資者の皆様へ帰属します。投資をご検討される際は、取扱金融商品取引業者にて交付される契約締結前書面を十分に確認の上、ご自身で判断下さい。本資料は信頼できると判断した資料・データ等に基づき作成していますが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、将来の投資成果を保証・約束するものではなく、その内容は将来予告なく変更されることがあります。

▶当ファンドにかかるリスクについて

基準価額の変動要因: ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きによる影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた利益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、当ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の上昇または下落は発生し得ます。また、将来の投資成果を保証・約束するものではなく、その内容は将来予告なく変更されることがあります。

信用リスク: 投資した債券の発行体の財務状況により、債務不履行が生じることがあります。債務不履行が生じた場合には、債券価格が下落する等、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、債券の格付の変更により債券の価格が変動することがあり、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。

為替変動リスク: 外貨建て資産に投資します。原則として外貨建て資産に対して売却し、市場に十分な流動性がない場合、市場動向等によっては意図した際立って成立しない場合や流動した価格より不利な取引を余儀なくされる可能性があります。この場合、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

金利変動リスク: 債券の価格は、政治、経済、社会情勢等の影響により金利が上昇すれば下落し、金利が低下すれば上昇します。したがって、金利の変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

デリバティブ取引のリスク: デリバティブ取引を用いることができます。このような投資手法は現物資産への投資に代って運用の効率を高めるため、または証券価格、市場金利、為替等の変動による影響からファンドを守るために用いられます。デリバティブ取引を用いた結果、コストとリスクが伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、デリバティブ取引は必ず用いられるわけではなく、用いられたとしても本来の目的を達成できる保証はありません。

有価証券の貸付等におけるリスク: 有価証券の貸付等において、取引先リスク(取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる危険のこと)が生じる可能性があります。損失を被ることがあります。

上場投資信託証券への投資に関する留意点: 金融商品取引所等に上場している投資信託証券(上場投資信託証券)を購入あるいは売却しようとする際に、市場の急変等により流動性が低下し、購入もしくは売却が困難または不可能等になることが考えられます。この場合にはファンドの運用成果に影響を与えることがあります。また、当ファンドは特定の市場投資信託証券に集中的に投資することがあります。この場合に当該市場投資信託証券が受ける価格変動リスクや上場投資信託証券の運営上のリスクの影響(当該市場投資信託証券の償還や上場廃止等)をほぼ直接に受けることが想定されます。

▶その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 収益分配金に関する留意点
 - ▶ 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 - ▶ 分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

▶手数料、費用等について

東京証券取引所に上場しているiシェアーズETFを売買する際は証券会社は取扱の金融商品取引業者(証券会社)等によって定められます。詳しくは証券会社までお問い合わせください。ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただきます。保有時の費用率は個別のiシェアーズETFによって異なります。また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すとはできません。個別のiシェアーズETFに関する情報、運用報酬・管理報酬等については、取扱金融商品取引業者(証券会社)、またはiシェアーズETFに関するウェブサイト(www.blackrock.com/jp/ishares/)にてご確認ください。

▶著作権について

©2020 BlackRock 無断複写・転載を禁じます。iShares®(iシェアーズ®)およびBlackRock®(ブラックロック®)は、BlackRock(インク)および米国その他の地域におけるその子会社の登録商標です。他のすべての商標、サービスマーク、または登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。本資料の著作権は、ブラックロック・ジャパン株式会社に帰属し、全部または一部であってもこれを複製・転用することは社内用、社外用を問わず許諾されていません。本資料で掲載されている指数の著作権その他一切の知的財産権は、指数毎の提供会社に帰属します。指数提供会社は、iシェアーズETFのいずれかに関して出資、保証、発行、販売、または販売促進を行うものではなく、またiシェアーズETFへの投資の妥当性についていかなる表明も行いません。ブラックロックは上記の指数提供会社の関連会社ではありません。

ブラックロック・ジャパン株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号
 加入協会: 一般社団法人 日本投資顧問業協会、
 一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会、一般社団法人
 第二種金融商品取引業協会
 〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号
 丸の内トラストタワー本館
 ETF事業部 TEL 03-6703-4110(部代表)
 www.blackrock.com/jp/ishares/